

今月の寺ともさん 高松空襲を記録する会 喜田 清さん



今月の寺ともさんは、高松空襲を記録する会の喜田清さんです。ちょうど70年前の7月に高松が空襲され、徳成寺も跡形もなく破壊されました。この節目に、空襲体験者の喜田さんにお話を聞きました。

当時12歳(今で言う中学1年生)の喜田さんは、現在の114銀行本店のある南亀井町の自宅で空襲に会いました。お父さん・お母さんは、当時バケツリレーの消火訓練で「逃げずに消せ」と仕込まれていたもので、「消す」か「逃げる」かで、夫婦ゲンカになっていたそうです。

結局、喜田さんは、現在の中央公園にあった五番町国民学校の防空壕に逃げ込んでお母さんと兄弟ともども助かりました。口論していたお父さんも防火水槽の中で生き延びました。しかし周りには、やけどによりゴム風船のようになった遺体や、防火水槽に頭を突っ込んで亡くなった

方など、多くの方々が傷ついたり死んだりしていました。昭和48年から5年間、空襲体験者から直にお話を聞く作業を丁寧に続けられ、一冊の本にまとめられました。平和への思いを「今できることを、やっpegおらん」と仰います。もし今の政権がダメだと思うなら、選挙に行って意思表示することも一つの手です。下の写真は、70年前降ってきた実物の焼夷弾の筒です。喜田さんが聞き取り作業の中で、被災者の方から譲られたものです。大きさを比較するために私の携帯電話と並べてみました。こんなのが空から次々降って来て、一面火の海になるのが空襲なのです。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：宗(そう)ちゃん
 性別：♀
 お年：16歳
 種類：アジツとシャムのMIX
 好物：かつお節
 苦手：掃除機
 住所：川崎さん宅(高松市)
 性格：おとっちゃん

ご自慢のペットちゃん
 募集中だにゃん!

エピソード：「宗が我が家にやってきたのは、16年前の夏。娘がおこられまいとこっそり連れて帰ってから、今ではすっかり家族の一員です。『宗』と呼ぶとこっちを向いて鳴くし、家族が食事をしていても手を出さないし、外に飛び出してもトイレをしに戻ってくるところが、かわいくて仕方ありません。来年も再来年も誕生会ができるよう長生きしようね。家族そろって猫バカです。」と川崎さんご本人からエピソードを寄せて頂きました。ほんと可愛い宗ちゃんです。

***** 総代さん便り *****

総代の松本です。続きますが、「花まつり」の話題です。4月5日の稚児行列は華やかさの中に厳粛さがありました。40名のお稚児さん一人ひとり個性があり、額にてんてんをつける時、泣き出す子、顔をしかめて我慢する子、お稚児さんの自覚があり、にこにこしている子と、にぎやかな準備風景でした。メガネをかけたお婆さん＝私＝が鉛筆に墨をつけて顔を近づけてくるので怖いのは当たり前。行列はかわいかったです。仏様の子ども達でしたね。

